

## 2024 フクシマ連帯キャラバン報告書

私は、茨城行動から参加し自治体への要請行動を行いました。各自治体へ直接足を運び、要請文を読み上げ、自治体への質問や訴えを述べて参りました。

しかし、自治体からは「国の判断となります」等のグレーな回答で、国の指示であれば何でも行いますとも解釈ができる、無責任なものばかりでした。住民の安心できる暮らしを本当に守って貰えるのかと不安や不信感に感じたのを覚えています。

簡単に私たちの意見が反映されるものでは無いことは分かっております。しかし、全国の仲間が私たちの地元で抱えている問題に同じ熱量、同じ目標を持って活動してくれています。だからこそ、毎年『フクシマ連帯キャラバン』を行い、声をあげて訴え続けてくることが、長い闘いの一番の近道なのだと思います。

来年も皆さんでより良い行動にしていきたいと思います！！

全港湾 東方地方ひたち支部青年女性部  
書記長 栗原 拓哉